

## 脳卒中の情報広め理解深める



永富脳神経外科病院 病院長

湧川 佳幸氏

地域を支える脳外科病院として、24時間365日体制で救急患者を受け入れている。脳卒中の超急性期では、血栓溶解療法や脳血管のカテーテル治療などを実施。回復期病棟を備え、患者の容体に合わせて急性期からリハビリを行っている。

2015年の病院長就任以来、啓発活動に力を入れている。「高齢化が進み脳卒中の患者さんは増えているが、病気について知らない人が多い」と、地域の公民館に出向いて

講話し、入院患者向けに教室を開くなどして予防法や特徴的な症状などを分かりやすい言葉で伝えてきた。理解を深めるため「ゆっくりと何度も繰り返して話す」ことを心掛けていくという。昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止した活動も多かったが、ラジオ番組への出演は継続。ホームページを通じた動画配信など、新しい情報発信の方法も検討している。

「血圧や血糖値、コレステロール値を管理し、生活習慣に

気を付け、水分を小まめに摂取することが脳卒中予防の基本」と説き、片側の手足や顔のまひ、言葉の障害といった代表的な症状を「FAST(Face Arm Speech Time)」という言葉にまとめる。Timeは速やかな治療の重要性を表すもの。「脳卒中のうち脳梗塞は、血液が絶たれて脳が枯れてしまった状態。枯れる前のしおれた状態で血液を戻せば機能は復活するが、枯れてしまうまでの時間は数時間しかない。症状が出たらすぐ病院へ」と訴える。

コロナ禍で感染防止対策に追われた昨年を振り返りながら「どんな状況でも、目の前の患者さんに寄り添って医療を提供してきた。これからも技術を磨き、地域の皆さんの脳の健康を守っていく」と決意を新たにす。脳卒中・循環器病対策基本法が施行され、予防・啓発、医療体制の整備、後遺症患者の支援など、国を挙げて総合的、計画的に推進していく仕組みづくりも進む。病気や後遺症で苦しむ人を少しでも減らすため、地道に、着実に、歩みを進める。

### 病院DATA

- 診療科目  
脳神経外科・脳神経内科・脳血管内科・神経眼科  
放射線科・リハビリテーション科
- 診療時間  
平日／9:00～12:00、14:00～17:00  
土曜／9:00～12:00
- 休診日  
日曜、祝日  
※急患は24時間365日対応



日本脳卒中学会認定 一次脳卒中センター

